

11月選抜

令和2年度 教育実践高度化専攻
社会系教科マネジメントコース 試験問題

受験番号

--	--	--	--	--	--

令和2年度〔教職〕教育実践高度化専攻 社会系教科マネジメントコース 試験問題

注意事項 解答は所定の解答用紙に記入せよ。

問題 I

社会系教科の授業において、知識や思考力等を基盤とした社会の在り方や人間としての生き方について「選択・判断」させるには、指導上どのような点に留意すればよいのか、具体的な事例を挙げて論ぜよ。なお、事例を挙げる際には、学校種及び学年を明示すること。

令和2年度〔専門〕教育実践高度化専攻 社会系教科マネジメントコース 試験問題

注意事項 次の問題（問題Ⅰ～問題Ⅳ）から1問題を選んで、解答用紙の所定の欄に選択した問題番号を記入し、解答すること。

問題Ⅰ

江戸時代における百姓に対する賦課上納物（年貢・諸役など）は、大別すると、本途物成（本年貢とも、単に物成とも言う）・小物成・高掛り・夫役の4種に類別できる。その各々を、特に賦課の基準（成年男子単位の賦課あるいは反別賦課等々）に留意しながら説明せよ。

問題Ⅱ

ウィーン会議（1814～15年）の歴史的意義について論ぜよ。なお、論述に際しては、次の2人の人名を必ず使用し、用いた人名に下線を付すこと。

メッテルニヒ（Metternich） タレーラン（Talleyrand）

問題Ⅲ

サンフランシスコ講和条約について説明せよ。なお、説明に際しては、次の人名・用語を必ず使用し、用いた人名・用語に下線を付すこと。

吉田茂 片面講和 日米安保条約

問題Ⅳ

中央銀行が行う金融政策の手段である公開市場操作について説明せよ。